

多摩区

かわさき^{そら}宙と緑の科学館

小田急線向ヶ丘遊園駅から徒歩 15 分
溝の口駅南口・向ヶ丘遊園駅東口から市営バス[溝 11]
生田緑地入口下車徒歩 5 分

宙も緑も市民とともに！



市民公募で選ばれた愛称「サイエンスプリン」

生田緑地に立地するかわさき宙と緑の科学館(以下、「同館」と略)は、1971(昭和 46)年にまずプラネタリウム館が開館し、1983(昭和 58)年に本館展示室がオープン、2021(令和 3)年に 50 周年を迎えました。公害が問題となっていた当時、川崎の子どもたちに美しい星空を体験してもらい、科学への関心を高めてもらいたいという熱い思いから誕生した自然科学系の登録博物館です。2012(平成 24)年にリニューアルオープンして、現在の姿となりました。

身近な自然を再発見



▲自然科学棟 館内の様子

自然科学棟 1 階展示室では、川崎の自然を「川崎の大地」「丘陵の自然」「街の自然」「多摩川の自然」「生田緑地ギャラリー」等のテーマでわかりやすく展示しています。まず目に入る

のは、実際の地層を約 5 分の 1 に縮小して再現した 8m の地層タワー。生田緑地の地面の下にはこのように約 100 万年の歴史が積み重なっているのです。

南北に長い川崎市には、街や多摩川、生田緑地、それぞれの環境に適応した、たくさんの動物たちが生きています。昆虫、植物、両生類、爬虫類の標本やモデル、哺乳類、鳥類のはく製が、見る人のワクワク感を盛り上げるように展示されています。いろいろな角度からじっくり観察することができて、「モミジの種ってプロペラみたい」「この虫、意外とかわいい顔をしているね」と会話も弾むことでしょう。

きらめく星空に魅せられて

1 階のプラネタリウムには、星のリアルさを追求し、本物の夜空で体験するような空気感を再現できる最新鋭のプラネタリウム投影機「メガスターⅢフュージョン」があります。川崎出身の世界的プラネタリウムクリエイターである大平貴之さんが同館のために開発しました。

プラネタリウムでは、毎月変わる科学館のオリジナル番組を専任の解説員による解説で楽しむことができます。また、大人の皆さんに人気の投影は「星空ゆうゆう散歩」(第 3 木曜日 午後 1 時 30 分から)。NHK ラジオ「子ども科学電話相談」で活躍中の國司眞さんの穏やかな語り口に癒(いや)されて、とても勉強になると評判です。先着順なので、ご覧になりたい方は少し早めに行ったほうがよいかもしれません。

「学習投影」では、市内学校の校庭からの 360 度パノラマ画像(スカイライン)を投影して各学校の校庭から見える星空を再現し、方角を確認して学習することができます。



「メガスターⅢフュージョン」世界に一つ、同館にしかない、あらゆる時間、あらゆる場所での星空を再現できる投影機

ステキな発見、気づき、思い出を

広報担当の渡辺友貴さんは、子どもの頃に家族で何度も同館を訪れ、学生時代には同館でアルバイトをし、社会人になってまた戻ってきたという、まさに青少年科学館の申し子。「ここは私にとってかけがえのない科学館。これからも、来館される皆さんの科学への興味・関心を高めるような発信をしていくことで、皆さんそれぞれのステキな発見、気づき、思い出をお持ち帰りいただければ嬉しいです」と、少年のような笑顔で話していました。



▲人気の撮影スポット D51 形蒸気機関車



▲サイエンスワークショップ



▲アストロカー

子どもから大人まで 科学の楽しさを！

同館では、科学系のボランティア団体と協力してさまざまな教室・講座・観察会を開催しています。毎週土曜日、整理券方式・入替制で簡単な工作・実験を行うサイエンスワークショップや、事前申込制のサイエンス教室などのイベントがあります。市内の学校団体などを対象に行うかわさき星空ウォッチングではアストロカーが出動します。内容や申し込み方法など、詳しくは同館のホームページをご覧ください。

■かわさき宙と緑の科学館 サイエンスプリン

ホームページ

〒214-0032 多摩区枳形 7-1-2

電話:044-922-4731

開館時間:午前 9 時 30 分から午後 5 時

休館日:月曜日(祝日の場合は翌火曜日)

祝祭日の翌日(土日・祝日の場合は開館)

12 月 29 日から 1 月 3 日・館内点検日

入場料:無料(プラネタリウム観覧は有料)

